

(様式6) 社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	1 長泉町下水道整備事業（第2回変更）																	
計画の期間	平成27年度 ～ 平成29年度（3年間）					交付対象	静岡県長泉町											
計画の目標																		
地域住民の生活環境の改善と狩野川本流、狩野川支川の黄瀬川等の水質汚濁防止を図ることを目的とする。																		
計画の成果目標（定量的指標）																		
・下水道整備計画により下水処理が可能となる面積を成果目標とし61％（平成26年度末）を62％（平成29年度末）まで整備する。 ・下水道処理区域内の下水道接続人口を27,300人（平成26年度末）から、29,000人（平成29年度末）に増加させる。																		
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値				備考					
									当初現況値	中間目標値	最終目標値							
									(H27当初)		(H29末)							
①	下水道全体計画面積のうち、公共用水域の水質改善に貢献できる下水道整備が完了された面積の割合 下水道利用可能面積（％）＝当該年度末まで累計整備面積（ha）／計画処理面積（741.3ha）×100								61％		62％							
②	下水道の供用が開始された区域における下水道へ接続した人口								27,300人		29,000人							
全体事業費		合計 (A+B+C)		451 百万円	A	451 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C／（A+B+C）		0％					
○事後評価の実施体制、実施時期																		
事後評価の実施体制									事後評価の実施時期									
計画の目標及び指標について、長泉町で評価。									平成30年11月									
									公表の方法									
									長泉町ホームページに掲載									
事後評価																		
1. 交付対象事業の進捗状況（○：計画期間中に完成 △：計画期間終了後に完成見込（備考欄に完成予定時期を記入） ー：その他（備考欄に具体的に記入（中止、未実施等））																		
交付対象事業																		
A1 基幹事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考	
											H27	H28	H29					
1-A1-1	下水道	一般	長泉町	直接	長泉町	汚水	新設	西部処理区管渠整備（未普及解消）	下水道管φ200 L=3,000m	長泉町						437	○	
1-A1-2	下水道	一般	長泉町	直接	長泉町	汚水	新設	効率的な事業実施等の為の計画の見直し	調査・検討	長泉町						10	○	
1-A1-3	下水道	一般	長泉町	直接	長泉町	汚水	新設	効率的汚水処理整備計画	アクションプラン策定	長泉町						4	○	
合計														451				
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考		
										H27	H28	H29						
合計																		
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考	

C 効果促進事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業 者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	進捗 状況	備考
										H27	H28	H29					
合計														0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

（参考）	計画の成果目標を同一とする地域自主戦略交付金の交付対象事業
------	-------------------------------

（別添「事業実施計画」参照）

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		本計画期間である平成27～29年度の管路工事において処理面積が12.05 h a 増加し、処理区域内人口が2,026人増加した。				
II 定量的指標の達成状況	指標① （全体計画面積のうち、公共用水域の水質改善に貢献できる下水道整備が完了された面積の割合）	最終目標値	62 %	目標値と実績値に差が出た要因	計画的に事業を進めることで、目標値を達成した。 目標値：459.61ha (H29末整備済面積) ÷ 741.3ha (全体計画面積) = 62% 実績値：462.69ha (H29末整備済面積) ÷ 741.3ha (全体計画面積) ≒ 62.4%	
		最終実績値	62 %			
	指標② （下水道の供用が開始された区域における下水道へ接続した人口）	最終目標値	29,000 人	目標値と実績値に差が出た要因	計画的に事業を進めることで、目標値を達成した。 31,645人 (H29末行政人口) に対し30,583人が下水道に接続しており、町内で下水道に接続している人の割合は70.8%で、H26末の64.5%から6.3%増加している。	
		最終実績値	30,583 人			
	III 定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況 （必要に応じて記述）		地域住民の生活環境の改善と狩野川本流及び狩野川支川の黄瀬川等の水質を一層改善させた。			
	3. 特記事項（今後の方針等）					
10年概成を視野に、今後も計画的な整備を行う。 料金徴収業務と連携して未接続世帯への接続促進の働きかけを強化し、更なる接続の促進を目指す。						

(参考様式3) 参考図面

